

オン



ヒライ タマリ

契約管財課 平井 珠実 主任補 (2023年入庁)

1991年生まれ、静岡県浜松市出身。
前職では東京都内で医療関係の業務に従事。

2023年～ 現所属

Q1 所属部署の主な業務内容

契約管財課は、帯広市が所有している土地、建物などの公有財産について売払い等の検討を行ったり、市が発注する工事等の入札・契約を統括する部署です。
入庁1年目で、市有地の貸付けや公共施設のデータを取りまとめる業務などを担当しています。

Q2 一番印象に残っている出来事

帯広市の規定を見直したことです。各課から相談を受けた内容について、他の自治体の規定や事例を調べ、現在のルールをどのように変えていくことが良いのかを検討を重ねました。帯広市の可能性がさらに広がるような案件で、私自身取り組みながらすごくワクワクした気持ちになりました。

Q3 帯広市で働くことの魅力

帯広市は、自然や食、観光など多くの魅力が溢れる十勝地方の中核都市であり、市が中心となって、十勝がさらに発展するためのルールを検討していくなど、常にチャレンジングな都市であると感じています。1年目でも重要な課題を担当でき、自分の業務が市全体、十勝全体と大きな仕事につながっていく、やりがいのある仕事ができることが魅力です。

ごほうびはセコマのティラミス

Q1 帯広市の暮らしやすさ・魅力

移住した私にとって寒さは想像以上でしたが、冬に見られるダイヤモンドダストはとても幻想的で、夏は多くの緑に囲まれ、年中自然を体感しながら過ごすことができます。
また、酪農王国の名のとおり、とにかく食べ物が安くて美味しい！！特に「セイコーマート」のティラミスは毎日でも食べたい美味しさです。

Q2 おすすめエリア・お店

十勝管内の様々な場所で見られる、白樺並木がおすすめです。夏の白樺は青々として逞しく、冬は雪化粧をしてとても綺麗です。

また、子どもたちはアイスが大好きなので、帯広市の「ウエモンズ・ハート」や池田町の「ハピネスデーリィ」にアイスを食べに行っています。

Q3 休日の過ごし方・趣味

4歳と2歳の子どもと一緒に、公園で遊んでいます。十勝管内には広大な敷地の公園がいくつもあり、遊具も色々な種類があるため飽きません。親としては、帰るタイミングを見つけるのが非常に大変です。

また、小説を読みながら大好きなコーヒーを飲む休日があったらいいなと思いつつ、実際には絵本を読みながら子供たちとペンギン体操をすることが多いです。

オフ



オン



ナカモト ユヅキ

戸籍住民課 中本 唯月 係員 (2020年入庁)

2001年生まれ、北見市出身。

2020年～ 現所属

Q1 所属部署の主な業務内容

戸籍住民課は、住民票や戸籍の交付、パスポートの申請、住所異動、戸籍届出など、市役所の業務の中で市民の方との関わりが多い部署です。

担当業務が各月で変更していきませんが、今は主に住民票や戸籍を発行する窓口を担当しています。

Q2 一番印象に残っている出来事

入庁してすぐの戸籍住民課の慌ただしさが1番印象に残っています。引っ越しシーズンど真ん中の4月1日に、忙しさのピークを迎える戸籍住民課。高校を卒業して間もない私には、緊張と予想をしていなかった忙しさにとても困惑し、社会人になった現実を身にしみて感じるとともに厳しさを思い知る日となりました。

Q3 帯広市で働くことの魅力

地元ではない帯広市で働くことを選んだ理由として、以前、住んでいたことがある母に「街がきれいだし、いい人が多いよ。」と言われたのがきっかけのひとつです。実際に働いてみて、母の言うとおりだと思えました。周囲の環境が悪いと働く意欲が低下してしまうことがあると思いますが、それがいいことは魅力に感じています。

適度に適当に生きる

Q1 帯広市の暮らしやすさ・魅力

個人的な帯広市の魅力ベスト3を決めるならば「ごはんがおいしい」「スイーツがおいしい」「天気がいい」です！光り輝く太陽に誘われ外に出れば、幸せが満ち溢れるおいしい食に出会えます。

体重増加は否めませんが、おいしいもので幸せを感じられるのでオールオッケーだと自分に言い聞かせています😊

Q2 おすすめエリア・お店

パン屋さんなら「くるみのランプ」がおすすめです！特にシナモンロールが大優勝です。

たくさんお店があるので広報紙やネットで調べて好きなお店を探してみてください！良いお店を見つけたら教えてほしいです☆彡

Q3 休日の過ごし方・趣味

休日は街へ飲みに行き出すことが多めです！飲みすぎてしまうことが多いので、最近はおしとやかに楽しめるように心がけたいなあと思っているところです。

車を運転することも好きなので、思い立った時に、甘いスイーツやパン、から揚げなどを求めて車を走らせたり、実家が大好きなので、地元の北見に帰省したりしています🚗⇒🏠⇒🚗

オフ



オン



オカダ ナツホ
都市政策課 岡田 夏歩 係員
(2023年入庁)

1995年生まれ、江別市出身。
前職では北海道内で公務員として従事。

2023年～ 現所属

Q1 所属部署の主な業務内容

都市政策課は、都市計画の決定、景観の形成、地域の公共交通に関する事など、暮らしやすいまちにするためのルールや仕組みを定める部署です。

今年度は、都市計画の中でも土地利用に関することのほか、課内の庶務や経理を担当しています。

Q2 一番印象に残っている出来事

私自身、採用初年度で日々学ぶことばかりですが、市民協働のまちづくりをする「まち育て」事業の一環で、帯広市内の中学校でまちづくりについて説明する機会が何度かあり、生徒が興味を持って質問をしてくれた時はとても嬉しかったです。まちづくりを身近に感じて、自分たちの住むまちに愛着を持ってもらえたらいいと思います。

Q3 帯広市で働くことの魅力

帯広市の都市計画は歴史が長いという訳ではありませんが、色々なことに意味があり、面白いです。公園から斜めに伸びている道、駅前の歩道舗装、鉄道高架のレリーフなど、普段生活していると見逃してしまうようなものにも、先人たちの「この街を魅力的にしたい!」という想いが込められているので、沢山のの人に広めたいです。

笑顔があれば、うまくいく

Q1 帯広市の暮らしやすさ・魅力

帯広市を含む十勝管内は、ご飯やスイーツのおいしい飲食店がとても多いので、同僚や家族におすすめされて色々なお店に食べに行っていたら、少し太ってしまいました。

また、帯広に住む方にとっては当たり前なのかもしれませんが、街中が緑豊かで、エゾリスを見かける機会が多く、幸せな気分になれます。

Q2 おすすめエリア・お店

十勝で暮らし始めて1年経っていませんが、音更町のイタリアン「ラ・ステラポラーレ」のパスタは、スタンプカードが全部貯まるぐらい何度も食べに行っています。

また、夏に上士幌町のタウシュベツ川橋梁を見てきました。とても神秘的でしたが、経年劣化によりいつ崩落してしまうかわからないので、まだ見たことのない方、おすすめです!

Q3 休日の過ごし方・趣味

土日の他、有給休暇を利用して旅行に行くことが多いです。帯広市は街中から空港まで距離が近いため、本州へ旅行に行くのにとっても便利です。旅行に行く時は、旅のしお리를作って、つい予定を詰め込んでしまいます。

また、シルバニアファミリーを集めていて、家で飾ったり旅行に連れて行って、一緒に写真を撮ることも好きです。

オフ



オン



アキバ タカユキ

ICT推進課 秋葉 貴行 主任補 (2008年入庁)

1988年生まれ、帯広市出身。

- 2008年～ 清掃事業課
- 2010年～ 国保課
- 2014年～ 情報システム課（当時）
- 2020年～ 現所属

Q1 所属部署の主な業務内容

ICT推進課は、市で使用するパソコンやネットワークの運用保守、業務システムの改修など、市役所の業務効率化に向けた仕事のほか、行政手続のオンライン化や新たなデジタルサービスの導入など、市役所内の他の部署と連携しながら、市民サービスの向上に向けたデジタル化を進めるなど、文字通りICTに関する様々な業務を行っている部署です。

Q2 一番印象に残っている出来事

リモートワーク環境の構築業務です。帯広市ではコロナウィルス感染防止対策として、テレワークを導入しましたが、令和4年度にさらなる拡充としてセキュリティ対策や利便性向上を目的とした新たなリモートワーク環境を構築しました。

また、その際にリモートワークポータルサイト、サポートサイトを自作で構築し、各職員自身で「リモートワーク予約⇒アカウント情報の通知」等を一貫して行う環境を整備しました。

Q3 帯広市で働くことの魅力

帯広市は、北海道内でも人口の多い自治体であり、市民の方向けや、職員向けのサービスを新たに構築する際に、考慮しなければならない要素が多く大変な部分もありますが、その分多くの方にメリットを享受していただける点はやりがいを感じる部分です。

また、令和5年度よりテレワークが通常の働き方の一部として認められており、所属部署によりますが任意でテレワークが出来る点は魅力です。私は週1～2日はテレワークをしています。

プロ意識を持つこと

Q1 帯広市の暮らしやすさ・魅力

都市部と自然環境のバランスが良い点、本州地方に比べて湿度が低い点です。

また、市内に温泉施設が充実しており、温泉好きの身としてはとても魅力的です。

1年を通して晴れの日が多いのも魅力です。

Q2 おすすめエリア・お店

子育て中なので、子どもを遊ばせることが出来る「児童会館」がおすすめです。

お気に入りのラーメン屋は音更町にある「めん吉」で、ほぼ毎週のように通っています。

Q3 休日の過ごし方・趣味

休日はICTに関する勉強や、子どもと遊ぶ時間が主です。空いた時間で趣味のゲームをやったりしています。

オフ



オン



タザワ チカシ

ばんえい振興課 田澤 親 主任補 (2009年入庁)

1990年生まれ、帯広市出身。

- 2009年～ 道路維持課
- 2011年～ 資産税課
- 2016年～ 現所属

Q1 所属部署の主な業務内容

ばんえい競馬の「経営」に関わることを全般に関わっています。折衝・契約・実践・効果検証、ばんえい競馬を盛り上げ、競馬場を良くするためには何をすべきかを考えています。0から1を生み出すにはどうしたら良いか。1を100にするにはどうしたら良いかをひたすら考え、自分なりのベストを目指していく仕事が多いです。

Q2 一番印象に残っている出来事

毎日新しい課題が追加されるので、「飽きない日々」が続きます。そのため、忙しいです。一般的には、時間外労働をしていたら落ち込む人が多いですが、ばんえい振興課では、元気になる人が多いです。不思議ですね。理由は来てみたら分かります。強いて言えば周囲が思っている競馬場の印象と現実とのギャップがヒントです。

Q3 帯広市で働くことの魅力

ばんえい振興課は、「利益を追求する組織」です。実績が数字として現れるのも特徴です。努力が報われる場合ばかりではないですが、努力の結果が数字で見て取れた時の喜びは計り知れないものです。そして、このような一般的な公務員の仕事とはかけ離れた公営競馬を「市」単体で行っているのは、全国でも帯広市だけです。

やるからには、楽しむ。

Q1 帯広市の暮らしやすさ・魅力

道が分かりやすく、過ごしやすいです。どこことなく凄い人が多く、大きな可能性を秘めた街です。イベントが多く、人と関わることが好きな人にとって相性の良い街だと思います。

Q2 おすすめエリア・お店

近隣の町村を含め、子育てをするには良い環境が揃っています。芽室町には夏に水遊びが出来る良い公園がいくつもあり、幕別町の「ナウマン公園」も行きやすいです。音更町の「十勝川温泉」や帯広市内にも魅力的な温泉が沢山あります。夏季「麦音ビオマルシェ」では、取れたての野菜が直接農家さんから買えます。冬は「明治北海道十勝オーバル」でスケートがおすすめです。

一度は大迫力で可愛い「ばん馬」を見に「おびひろ動物園」と「帯広競馬場」にご来場ください！

Q3 休日の過ごし方・趣味

子ども達と過ごすのがほとんどです。現在の職場は火曜日と水曜日が休みのため、どこに出かけても空いており快適です。お店の定休日と重なる場合が多いのが難点ですが、今のところ土日休みに未練はありません。リモートワークも出来るので、効率よく休日と出勤の調整が出来ます。ほかには、スノーボードも好きでよく滑りに行きます。

オフ





モリタ ゴウシ
 こども課 森田 豪志 主任補
 (2016年入庁)

1993年生まれ、帯広市出身。

2016年～ 保護課（当時）

2020年～ 現所属

2023年3月～8月 育児休業取得

Q1 所属部署の主な業務内容

私の所属するこども課では、公立保育所の運営を始め、保育所・幼稚園や各種手当に関する事など、子どもに係る業務を全般的に所轄しています。

Q2 育児休業取得時の雰囲気や、周りの反応

皆さんからお祝いのお言葉をいただき、上司に育休の希望を伝えた際には「ぜひとも取得するべきだ！」と快く送り出していただけました。日頃から職員同士でサポートし合う体制が築けており、それも取得しやすい要因であったと思います。

Q3 育児休業を取得してよかったこと

生まれたばかりの子どもと一緒に過ごせたことです。復職し、平日子どもと会える時間が少なくなってからは尚更そのありがたみを実感しています。また、乳児期の育児に妻と二人であたることで、夫婦ともに心身に余裕を持つことが出来ていたと感じています。

Q4 帯広市で働くことの魅力

帯広市役所はワーク・ライフ・バランスを非常に取りやすい職場と感じています。充実した休暇制度と、それを活用しやすい風土があります。仕事も私生活も大切にしたいという方にはぜひおすすめしたい就職先です。

毎日たのしく過ごしましょう。

Q1 帯広市の暮らしやすさ・魅力

帯広市は都市と自然がほどよく調和している街です。近隣の3町を含め出かけるスポットは多くあり、美味しい飲食店や食材も多いことから、過ごしやすく・楽しく・美味しい、三拍子揃った素敵な市です。

Q2 おすすめエリア・お店

市内中心地の繁華街には様々なお店が密集しており、特に夜は人が集まり賑やかになります。帯広にお住まいになれば度々出かけるエリアになると思います。

その中でもおすすめは喫茶店の「黒船」です。落ち着いた空間でリラックスには最適、コーヒーだけでなく甘くて冷たいバナナジュースは絶品です。

Q3 休日の過ごし方・趣味

息子が生まれてからは家族で休日を過ごす時間が増えました。まだ息子は抱っこ移動ですが、妻と3人で様々な場所へ出かけています。

また、前述のとおり私生活の時間を多く確保できる職場ですので、それを活かして友人と遊んだり勉強に取り組むなど、充実した余暇を過ごせています。



オン



チバ ユウサク
人事課 千葉 優作 課長補佐
(2002年入庁)

1978年生まれ、帯広市出身。

2002年～ 百年記念館
2005年～ 職員課 (当時)
2010年～ 農政課
2016年～ 企画課
2021年～ 現所属

Q1 所属部署の主な業務内容

人事課の名前が示すとおり、人（職員）にまつわる幅広い事柄を取り扱っていますが、職員の労働条件や厚生に関わる仕事と給料支給に係る確認事務などが主な業務です。ちなみに今年の決裁件数を確認したところ、月平均で549件でした。

Q2 管理職としての工夫

人事課の業務の性質上、色々な意味で重たい仕事が多いので、職場の雰囲気明るくできるようにするため、質問に対して真面目に返さないことを心掛けていますね（最終的には真面目に答えています）。

Q3 マネジメントの面白いところ、難しいところ

自分がプレイヤーでは無い中で、こちらの働きかけ次第で、プレイヤーだった時の自分では見つけられなかったアイデアや行動が部下職員から出てきた時には面白味を感じます。難しいところは、ほぼ全てですね。簡単ではないですよ、やっぱり。

Q4 帯広市で働くことの魅力

市のスタンスとも重なりますが、新しいことにチャレンジする人が多いと感じます。そういった人々と協力して何かを始められる時のワクワク感は魅力ですね。

仕事を、面白くする。

Q1 帯広市の暮らしやすさ・魅力

まち全体が比較的平坦で、自動車や自転車での移動に最適化された構造（道幅が広く、商店等の駐車場が大きいなど）となっていて暮らしやすさを感じます。また、公園が多いことや、アウトドアアクティビティを楽しめる場所がいくつもあるところが魅力ですね。

Q2 おすすめエリア・お店

帯廣神社によく行きます。静かな境内の中に厳かな空気が流れていて気持ちをリセットできますから。

Q3 休日の過ごし方・趣味

休日は、朝10時頃に起きて、昼ご飯を食べた後、午後イチからベッドで横になって漫画・小説などを読みながらダラダラして気付いたら夕方まで昼寝してますね。読書×昼寝が一番の娯楽です。春から秋にかけては、気が向いた時に走ってますね。

